

「あたらしきもの京都」は、個性豊かな京都の事業者が日本全国に向けて新たに 発信するものづくりプロジェクトです。長い歴史と進取の精神に富む京都の伝統 工芸や地場産業が持つ優れた素材と技術を、現代のデザインによってしなやかに 洗練させました。これらは日々の生活に潤いと輝きをもたらす、暮らしの道具ば かりです。インテリア小物やテーブルウエア、ギフト用品など、商品は多彩。 しかもどれをとって見ても、そこには見慣れた京都のイメージを超える新しい 表情と普遍の価値が宿っています。

"伝統の解放"に"破壊的創造" ———

そんな挑戦に満ちた「あたらしきもの京都」は、人々に寄り添い、暮らしに喜びと 感動をもたらし、日本の生活文化の進化に貢献します。

※あたらしきもの京都は、京都商工会議所が推進する 「VIVID KYOTO-しなやかに ともに いきる |を具現化する事業です。

#### 目次

4	 鳥居
6	 速水製作所
8	 辻商店
10	 京都桐箱工芸
12	 醍醐窯
14	 忠伸工芸
16	 トリートーン
18	 夢み屋

#### アドバイザーチーム

デザイナー 梅野聡 あたらしきもの京都カタログ 2021 2022年1月31日発行 ナカジマミカ 編集・文 下川一哉、杉江あこ セールスアドバイザー 田中智子 福尾行洋 写真 下川一哉 コミュニケーションアドバイザー TCI研究所 デザイン 杉江あこ

コーディネーター 西堀耕太郎 ファッション京都推進協議会

発行

京都商工会議所

# がくぷち

# 鳥居



### モダンなアイデアで伝統を進化させる

素 材:シルク/キュプラ/キュプラ+綿、紙 サイズ: H208×W160mm

種 類:更紗華紋(金茶)、線上り唐花(納戸)、 唐花金襴(金襴·薄紺)、洋唐花(半箔· 白茶)、亀甲 (薄納戸)、波 (白銀)、 牡丹唐草 (茶鼠)

書や仏画、日本画などに裂地を組み 合わせ、観賞のために美しく飾る表具。 鳥居はその表具用の美術織物を専門に 扱う卸問屋である。表具を製作するに あたり重要な作業が裂地と紙を糊で張 り合わせる裏打ちで、表具師の熟練技 術を要する。この裏打ち技術を生かし、 近年、同社は表具以外の生活雑貨の開 〒 604-0804

京都市中京区夷川通堺町東入絹屋町128番地

Tel: 075-222-1031 Fax: 075-222-2350 E-mail: info@torii.kyoto.jp https://torii-kyoto.jp https://torii.kyoto.jp









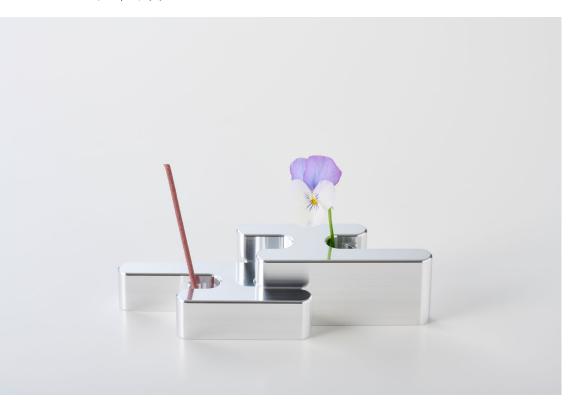
発に積極的に取り組んできた。

「がくぷち」はポストカードを飾る ためのありそうでなかった額である。 日本では本格的な絵画を買う習慣はあ まりないが、美術館や旅先などでポス トカードを記念に購入する機会はよく ある。安価で簡易なことから何枚もま とめて購入する人も多いだろう。同社 な暮らしに映える裂地7種を採用した。

代表取締役の鳥居玲子はそんなニーズ に目を付けた。「表具の延長線上で、 日常生活にあるものを気軽に飾れる道 具をつくりたいと考えた。仕舞ってお いたポストカードも縁に裂地を付けれ ばおしゃれなインテリアになる」と言 う。同社オリジナル織物から、モダン

# Hana Kasumi

# 速水製作所



### 円熟した技術と新しい感性との融合

素材:アルミニウム

サイズ: 小/ H17.5×W80×D33mm 大/ H30×W80×D33mm ツヤツヤの鏡面でもなく、白っぽくもなく、独特の柔らかい光沢を放つ「Hana Kasumi」。これはアルミニウムの塊から削り出しのみで製作した一輪挿し・お香立てだ。名前のとおり、霞のような抽象的な形をしていて、見る者の心を和ませる。天面には穴が1つ空いており、そこに道端で摘んできた

〒 601-8135

京都市南区上鳥羽石橋町46-8

Tel: 075-682-4101 Fax: 075-682-4102 E-mail: info@hayami.co http://www.hayami.co

https://hanakasumi.base.shop









野花を生けたり、スティックタイプの お香を立てて香りを楽しんだりでき る。どちらの用途にも使える絶妙な穴 の大きさである点が特徴だ。

これを製作したのは、金属加工会社 の速水製作所である。同社は検査機器 や医療機器、半導体製造装置など産業 機械の精密部品の切削を専門としてい る。金属の中でも難削材と言われるステンレスに特化して技術力を高めてきた。その蓄積を生かし、暮らしの道具の開発に初めて挑んだ。「アルミニウムでも切削の仕方でこんなに美しく輝けることを知ってほしい」と同社営業の速水百合子は言う。玄関や食卓などに置いて愛でてみたいアイテムだ。

# プリーツのお皿

# 辻商店



### 古き物を生かし、形や素材を変えて使う

素材:紙

サイズ: スクエア/L200×W35mm (最小時)、 L220×W360mm (最大時) ラウンド/L200×W35mm (最小時)、 L350×W396mm (最大時)

種 類:スクエア/白、墨、紺、紅 ラウンド/白、灰・黄、藍・桃、茶・緑 横に、斜めに、手で軽く引っ張ると 紙がどんどん伸び、形が変化自在に変 わる。その面白さについ夢中になって しまうのが「プリーツのお皿」だ。こ れは耐油耐水紙にプリーツ加工を施し た製品で、お菓子をはじめ、揚げ物な どの食べ物を載せられる。付属のワッ クスペーパーを敷けば、さらに繰り返 〒 606-8344

京都市左京区岡崎円勝寺町91-101

Tel: 075-752-0766 Fax: 075-354-6436 E-mail: kaishi@tsujitoku.net https://www.tsujitoku.net









し使用ができる。また器の下に敷いたり蓋として被せたり、アクセサリー置きにしたりと使い方は自由だ。

開発したのは、懐紙専門店「辻徳」 を経営する辻商店である。懐紙と言う と茶席で使うものというイメージが強 いが、同店では現代の暮らしにおける 懐紙の使い方を提案している。2年前、 機能性の高い新規素材に着目したことで、新しい概念の"懐紙"を生み出すことができた。当初のスクエア形に加え、今回、ラウンド形を開発したことで、より立体的な器に変化させることが可能になった。「家で過ごす時間を楽しむツールにしてほしい」と同社代表取締役専務の辻亜月子は言う。

# Hegi Tray

# 京都桐箱工芸



### 技術を転用し、生まれ変わらせる

素 材:キリ

サイズ: 小/H13×W270×D144mm 中/H17×W340×D180mm 大/H20×W406×D214mm

種 類:胡粉、蘇芳、藍、炭

丸太を裂いた面に現れる線状の凹凸を片木目(へぎめ)と言う。それを模して木目の縁をカンナで削り取り、人工的に凹凸を付けたものを片木目模様と呼ぶ。指物師が茶道具などを製作する際に、この技法を用いて独特の表情を生み出してきた。明治時代初期より桐箱を製造している京都桐箱工芸は、

**∓** 607-8302

京都市山科区西野山欠ノ上町45-12

Tel: 075-592-6963 Fax: 075-592-7289 E-mail: info@kyoto-kiri.cc

E-mail: info@kyoto-kiri.com https://www.kyoto-kiri.com



# 京都桐箱工芸





この技法をさらに応用して日常生活の中で使えるトレーを開発した。その名も「Hegi Tray」である。これはキリの軽さを生かした八角形の横長トレーで、サイズは3種類。茶懐石で八寸と呼ばれる盆の角に用いられる、板に切り込みを入れて曲げる折溜(おりだめ)技法で角を滑らかに仕上げた。

さらに見どころは蘇芳(すおう)、藍、炭などで草木染めした色だ。同社にとって草木染めは初めての試みだったが、片木目模様の凹凸が色の濃淡に変わり、味わいのある表情となった。「お客様をもてなすためのカフェトレーや、日々の食事を載せるトレーなどに使ってほしい」と同社の田原寛季は話す。

11

# RAKUAMI トリドリ/五神

#### 醍醐窯



#### 技法を蘇らせ現代のニーズに合わせる

素材:陶器

サイズ:トリドリ/H70×W55×D70mm 五神/H70× φ 70mm

種 類:トリドリ/小枝(藍、藤、朱)、小花(若 葉、藤、朱)、椿(藍、山吹、朱)、大梅 に小枝(橙、濃緑、黄)、大梅に小梅(翠、 山吹、茶)

五神/青龍、白虎、朱雀、玄武、麒麟

京焼の一種で、茶道具で名陶として 知られる楽焼。土の味わいが残る施釉 陶器で、独特の温かみや愛嬌を持つ。 その楽焼で割烹食器をつくり続けてき たのが醍醐窯である。中でも茶道具の 香合を基に開発した、蓋物の珍味入れ が同窯の看板商品だ。干支をはじめ、 さまざまな変形蓋物を製作するための 〒601-1325

京都市伏見区醍醐東大路町20-5

Tel: 075-571-0061 Fax: 075-571-0061

E-mail: daigogama.2017@gmail.com

https://daigogama.com





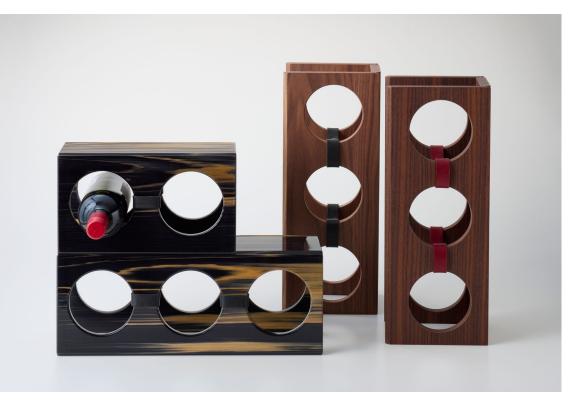


型を代々受け継いできた。第四代島荷 平を名乗る、当主の島静香は「この蓋 物を発展させて、家庭用食器やギフト 商品市場に販路を広げたい」と目論む。

そこで新ブランド「RAKUAMI」を 立ち上げ、縁起物に特化した商品展開 を始めた。まず人に最も身近な吉祥動 物で、朝の訪れを告げる鶏をモチーフ にした「トリドリ」。名前のとおり、 色も模様もとりどりの楽しい鶏がそろう。そして青龍や朱雀など京都の方位 の神をモチーフにした「五神」。いずれも器より蓋の方が大きく、ぽってり と丸みを帯びた愛らしい形が特徴だ。 食卓で調味料入れとして使える他、インテリア装飾品にもなりそうである。

# HO-EN

# 忠伸工芸



### 時代の空気を読み取り先んじること

素 材:スギ/突板+合板、革

サイズ: 2 bottles / H160×W280×D130mm 3 bottles / H160×W420×D130mm (いずれも横置き)

種 類:クロスギ、ローズウッド、ウォールナット

昨今、多くの人々の間で外食が減り、 家で食事をする機会が増えた。家でお 酒を飲む機会も増えたことから、お酒 のおいしい飲み方が求められている。 そんなニーズに応える「HO-EN」は、 縦置きにも横置きにもできる家庭用ワ インラックだ。2~3本のワインを横 に寝かせて卓上などに置けるだけでな 〒 613-0914

京都市伏見区淀生津町627番地

Tel: 075-632-0604

E-mail: csk.inoue@poppy.ocn.ne.jp

https://chuusinkougei.com





ため、収納場所に困らないのが特徴だ。 その理由はつなぎ合わせた3枚の板 をコの字形に折り曲げたり、真っ直ぐ 伸ばしたりできる構造にある。開発し たのは、店舗什器製造を主業とする忠 伸工芸だ。「以前にお客様の要望に応 えるため、木材と木材の間に布を挟み

く、使わない時には平らな状態になる

込む技術を習得した。それをこの機会 に転用した」と同社専務取締役の井上 隆広は言う。木材の選定にも凝り、ロー ズウッドとウォールナットの他、黒く ムラ染めした独特の色合いのスギを採 用。これを艶出し加工して、モダンな 食卓に似合うワインラックとした。両 脇の板を革バンドで留めて使用する。

忠伸工芸 Fax: 075-631-9212

# 京ころん ハンド&マスクスプレー

### トリートーン



#### ありそうでなかったものを創出する

素 材:エタノール、水、ヒノキ油/ユズ果皮油、 グリセリン

サイズ: ガラス瓶/H123×φ31mm

種 類:檜、柚子

昨今、街中のあらゆる場所にアルコール消毒液が設置され、手指を消毒しなければ施設や店舗内に入ることができなくなった。公衆衛生上、それは大事な行為であるが、消毒液が原因で手荒れに悩む人も多い。「品質の良いシンプルな原材料で安心して使うことができて、自然の優しい香りに癒される手指

**=** 605-0088

京都市東山区新門前通西之町 211-2

Tel: 0120-106-186 E-mail: info@treatone.co.jp https://www.kyo-cologne.com







清浄製品をつくりたい」と立ち上がっ たのが、創業5年目のトリートーンだ。

「京ころん ハンド&マスクスプレー」の主成分はサトウキビの糖蜜から蒸留した発酵アルコールである。香りに貴重な京都産の和精油を使用。檜からは森林浴の清々しさ、柚子からは新鮮な柑橘の甘酸っぱさを感じられる。そこ

に保湿成分のグリセリンを少量加え、 穏やかな使用感に仕上げた。ボトルに は環境問題となっているプラスチック ごみを削減するためガラス瓶を採用し、 さらに持ち歩きたくなる高級感あるデ ザインを目指した。「人と自然に優しい 製品づくりを通して社会に貢献したい」 と同社代表取締役の中澤喜之は話す。

17

# 天使の宝箱

# 夢み屋



### 今までになかったものへの挑戦

素材:レーヨンちりめん

サイズ: ティアラ/約 H170× φ 160mm クラウン/約 H190× φ 160mm

種 類:ティアラ/ホワイト、ベビーピンク、 オペラピンク、パープル、ミントグリーン クラウン/ホワイト、イエロー、ミント グリーン、ブルー へその緒や初めて抜けた乳歯などは、 子どもを持つ両親にとってかけがえの ない思い出そのものだ。これらを大切 に仕舞っておけるメモリアルボックス と、子どもに被せたい愛くるしい冠が 一体になったアイテムが登場した。そ の名も「天使の宝箱」である。これは 円筒形の宝箱の上にティアラやクラウ 〒 612-8009

京都市伏見区桃山町見附町20番地

Tel: 075-622-6900 Fax: 075-622-6904

E-mail: info@yumemiya.co.jp http://www.yumemiya.co.jp







ンを蓋として載せたもので、両者を外して使用する。ティアラやクラウンは 記念写真を撮る際などに子どもの頭に 被せられ、縁を着脱することで乳児から幼児までのサイズに対応する。宝箱 には内蓋が付いており、子どもが成長 した後にも保管箱として長く使える。

「天使の宝箱」を製作したのは和雑貨

企画製造会社の夢み屋である。従来と変わらない製作方法だが、レーヨンちりめん生地に金属箔を張り光沢のある生地に変えることで、和雑貨から洋雑貨へと転換することができた。「"はじめましての贈り物"として、家族や友人の出産祝いに利用してほしい」と同社取締役デザイナーの飯田景子は話す。